

～立山礼子氏を迎え

文化講演会～

十月二十日（日）、十和田市民センターにて、文化講演会を開催しました。

講師を務めた立山礼子氏は、立山弟四郎のひ孫、廉吉の孫にあたります。医師を目指し進学する十八歳まで、毛馬内で過ごしています。子どもころ経験した、大湯大清水分校の話や井戸の水の冷たさや薪でたくお風呂の話など、懐かしく感じた方も多いと思います。便利な時代になったが、少し不便を感じる生活を懐かしく思うとお話していました。

立山弟四郎は、毛馬内周辺の耕地改良をしたり、自動車の会社の設立や発電所の建設で、毛馬内に明かりをもたらしたり人々の生活を快適にするため尽力しました。また、私費を投じて十和田図書館の礎を築き息子の廉吉が受け継ぎ、今は十和田図書館に継承されています。

礼子氏が院長を務める立山医院は、今年二十周年を迎えるそうです。医師である礼子氏は、現在流行している「新型コロナウイルス」の現状についてもお話をいただきました。



こなんくんのつぶやき

朝晩だいぶ冷えてきました。そんな日は鍋に限りますね。我が家では「ぎりたんぽ」を作りましたよ。家庭料理でもあるので、それぞれの家庭で入れる具材も違います。舞茸やサモダシ、ナメコも美味しいですね。家庭の味♡
そして、我が家は「ぎりたんぽ」の後の締めを「だまっ」にします。



先人顕彰館の今年度の最後の講座は、十二月三日に行われる「湖南を知る会」です。ぜひご参加ください。

